

農福連携とは



農福連携は、農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組であり、地域において農業と福祉の双方が「Happy-Happy」の関係を構築する取組です。

ノウフク・アワードとは

「農福連携等応援コンソーシアム」（令和２年３月設立）の主催により、全国各地で農福連携当に取組んでいる団体・企業や個人から取組事例を募集し、優れた事例を表彰するものです。



【ノウフク・アワード HP より】

農林水産業と多様な人が連携することで、持続可能な共生社会をうみだす農福連携（ノウフク）が、全国で拡大しています。

農林水産業においては、次世代を担う人づくりや荒廃農地の活用など、産業の維持・発展につながるものとして。

障害がある人をはじめとする多様な人材においては、個性を活かした社会参画や役割と居場所づくりを後押しし、福祉の拡大や共生社会の推進を図るものとして。

そして、地域に暮らすすべての人にとって、生産者の顔が見える食材が食べられることや、食料自給率の向上、安心できる地域コミュニティの創出など、持続可能な生活と経済をつくり支える力になるものとして。

いま、ノウフクが生み出す価値に大きな期待が寄せられています。

ノウフク・アワード 2025 では、これまでノウフクを実践してきた人々や様々な取り組みに光を当てて、その事例を発掘・表彰します。そして、農福連携の輪を拡大し、新たな知恵や気づきを社会に発信していくことを目指します。

【特徴① 丁寧なマッチング支援で取組が県全域に拡大】

佐賀県では、令和4年度より、農業サイドと福祉サイドに1名ずつ農福連携コーディネーターを設置しています。

コーディネーターは農業振興センターやJA職員と連携しながら、農家と福祉事業所の間に立って丁寧なマッチング支援を行っています。



農福連携コーディネーターの支援内容

【農家への支援】

- 委託作業の助言
- 委託作業内容の確認
- 作業の細分化、見える化
- 工賃単価計算
- 福祉事業所の募集
- 福祉事業所との調整

【福祉事業所への支援】

- スケジュール調整
- 作業体験会の実施
- 契約書の作成支援
- トラブル発生時の対応
- 契約の説明と立ち会い
- 支払に関すること

【特徴② 県独自のマニュアル活用で質の向上】

佐賀県では、農福連携による農作業受委託の独自マニュアルを作成しています。初めての取組でも失敗なくマッチングや作業支援ができ、農家と福祉事業所の間で行う支援の質の向上に繋がっています。



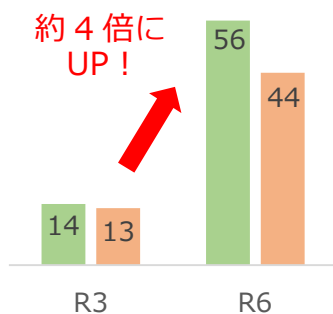
【取組の成果】

令和4年にコーディネーターを設置し、農業振興センターやJAと連携しながらマッチング支援を開始して以降、農福連携の取組は着々と拡大しています。

令和7年度の契約件数や取組件数は、県で取組を開始した令和3年度の約3.4倍にまで増しました。

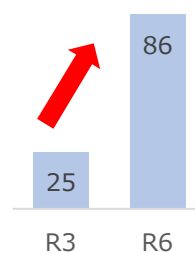
農福連携に取組む農家・福祉事業所数

■ 農家等 ■ 福祉事業所



農福連携の農作業請負契約数

約3.4倍にUP!



【取組事例 選果場でのすもも調整作業、不知火センサー選果作業】

【概要】

大和みかん選果場において不知火の選果作業を佐賀中部障がい者ふくしネットを介し、福祉事業所に依頼。受入事業所も増加し、デコボンの袋入れ作業やシール貼り、「すもも」のパック詰め作業も委託。

【福祉事業所の声】

毎年色々な作業に挑戦することができ、楽しんで作業に取り組むことで利用者の方の自信にも繋がっています。

【JA の声】

農家が交代で行っていた作業を委託でき、非常に助かっています。障害があってもしっかり作業してもらっているのが、相応の料金を支払うのは当然と感じています。



参考資料

佐賀県ホームページ 農福連携サイト

URL : <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00396354/index.html>

